

Final Stage

ぜっ校長!

第6号…明日は資源回収です!
2019(令和元)年5月10日(金)
稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆明日は、地域に『誇れる自分』であってほしい!

▼明日は今年度第1回目の「資源回収」です。昨年度の『ぜっ校長』第40号(最終号)でもお知らせしていましたが、今年度から「資源回収」を学校行事として行わず、“地域貢献”を目的とした“ボランティア活動”として実施します。したがって、昨年度まで(「資源回収」を授業時間にカウントしたことにより)翌週の月曜日の午後を振替休業としていたのを廃止します。2002年に「学校週5日制」が完全施行されてから、土曜日に部活動やクラブ活動などの大会も行われ、授業



↑昨年度の「資源回収」から

参観等の学校行事を実施することが困難になってきました。「資源回収」も同様で、毎回部活動の大会等で“出席”できない生徒(顧問も)がいます。それでも、資源回収によって得た収入は学校のPTA特別会計の基盤となり、多くは部活動に対する補助金として配分されています。当然、「資源回収に“出席”していない部にどうして補助金が配分されるのか?」とか「当日“出席”していない生徒になぜ振替休業が与えられるのか?」という不満も出ます。学校行事が、生徒の皆さんや保護者の方々に“不公平感”を作り出させてはいけません。そこで、今年度より「資源回収」を地域に『誇れる自分』として“参加”する“ボランティア活動”とします。考えてみれば、保護者の方々にとっては完全な“ボランティア活動”ですよね。もし、生徒の中に、“ボランティア”ということは“義務”じゃないよね。だったらズル休みしちゃおう」なんて考える人がいたら、私は「みんな一人一人が地域で役割をもっています。あなたがズル休みをすることであなたの分まで働かなければならない人が出るのです。それに平気でいられるくらいズルい生き方ができますか?」と問いたいです。(もちろん稲羽にはそんな子は一人もいないと信じています!)

▼地域に『誇れる自分』として「資源回収」に“ボランティア”として“参加”する生徒の皆さん! **5月11日(土)の「資源回収」を“ポイント5倍デー”とします!** 「資源回収」が終わったら、さっそく『ボランティア手帳』に、自分で“自己評価(5段階)”をして記入し、月曜日に担任の先生から認証印をもらってください。

☆吉田敬先生、第二子(長女)誕生おめでとう!



▼(校長としての“知名度”をアップさせるため、朝読書の時間に各教室を回っている)私は、昨日2年2組の教室で、実に心温まる光景を目にしました。5月8日に第二子(長女)が誕生した吉田先生へのお祝いメッセージが黒板いっぱい書かれてありました。吉田先生が教室に入ってきた時、生徒(と私)は何食わぬ顔をして静かに朝読書をしていました。そして、朝の会が始まり、司会者が「朝のあいさつ!」と号令をかけると、全員で大きな声で「**おめでとうございます!**」…生徒からの祝福に思いきり照れる吉田先生。心優しい生徒に囲まれ、私も幸せな気持ちになりました♥

